

日本熱物性学会 2010年第3回役員会報告 (HP版)

日 時：平成22年10月2日 (土) 理事会13:00~17:00

場 所：慶應義塾大学三田キャンパス 研究棟B会議室

主な議題：

高橋会長より御挨拶があった。本日は議題が多く、皆様より活発なご意見をいただきたいとのこと。長坂事務局担当より、配布物の確認が行われた。

(1) 前回議事録確認

田口評議員より、前回議事録の確認があり、問題なく了承された。

(2) 第31回日本熱物性シンポジウムについて

高田実行委員長より、第31回日本熱物性シンポジウムの準備状況について説明があった。シンポジウム2日目の総会の終了時刻を繰り上げ、懇親会会場への移動を考慮し、懇親会の開始時刻を変更した旨の説明があった。また、発表中止の依頼が2件あったとの報告があった。講演会場は、稲盛財団記念館の稲盛ホールを3つに区切って使用すること。総会・特別講演会場は総合学習プラザで、新旧役員会は循環型社会システム工学研究センターでそれぞれ行う旨の説明があった。企業カタログ展示については、稲盛財団記念館2階の廊下やエレベーターホールを利用すること。30周年祝賀会の案内(参加申込締め切り10月末)をホームページに掲載することになった。優秀プレゼンテーション賞に関して学生会員の入会が少ないため、メールで個別に連絡することに決定した。

(3) 総会に関する事項

(3) - 1 学会賞の授賞について

牧野表彰委員長より、学会賞の授賞について説明があった。表彰委員会で厳正に審査した結果、論文賞を迫田先生(九州大学)らのご研究「高圧水素用バーネット式PVT性質測定装置の開発」、奨励賞を熊野先生(神戸市立工業高等専門学校)ならびに田中先生(いわき明星大学)を候補者として推挙した旨の説明があった。功労賞に関しては、藤井先生(産業技術総合研究所)を推挙したとのこと。授賞について問題なく了承された。

(3) - 2 名誉員の顕彰について

牧野表彰委員長より、名誉員の顕彰について説明があった。表彰委員会で慎重に検討した結果、熱物性研究と学会の発展に大きく貢献された服部先生、渋川先生、福迫先生を名誉員として顕彰したい旨の説明があった。また、長年に渡って学会事務局の業務を支援し学会運営の円滑化に貢献された方々に感謝状を贈呈したい旨の提案があり、問題なく了承された。名誉員、功労賞、感謝状に関してはシンポジウム前日の祝賀会にて表彰したい旨の提案があり、了承された。

学会賞への応募が少ないため、是非積極的に応募いただきたいとのこと。その際、ATPC等の論文を推薦いただく場合には、審査の判断材料として別途査読付論文を添付いただきたい旨のお願いがあった。また、奨励賞に関しては、若手の研究者を育成するという意味でも

学会として重要なことであり、多くの推薦をいただきたい旨の説明があった。

(4) 第32期役員候補者について

長坂事務局担当より、第32期役員候補者の推薦について説明があった。各地区より役員候補者の推薦があったとのこと。関東地区についてはシンポジウム開催地区ということで5名の評議員によって構成されているとのこと。評議員について問題なく了承された。

会長・副会長について推薦があった旨の説明があった。候補者の中から慎重に議論した結果、次期会長に馬場先生（産業技術総合研究所）、次期副会長（無任所）に佐藤譲先生（東北大学）をお願いすることに決定した。

(5) 総会資料と進め方について

長坂事務局担当より、総会資料ならびに進め方について説明があった。第31期総会を九州大学・伊都キャンパス総合学習プラザ工学部大講義室で執り行うとのこと。次第について説明があった。次期会長、副会長および役員については、前項で承認されたとおりであるとのこと。現熱物性サービス委員会委員長は次期会長に選任されたために、次年度から交代する必要があるとのこと。また、規約等整備担当理事より、次年度から高橋一郎先生にお願いしたい旨の提案があり、問題なく了承された。活動委員会委員長も長らく佐藤春樹先生にご尽力いただいたので、次期委員長についても検討しなければならないとのこと。第32期の各種委員会委員長については、次期会長および次期執行部で検討していくことになった。

総会の進め方に関して、かなり前に遡った内容のものがあり、第30期活動報告ならびに第30期会計報告については役員会で既に承認されているものであり、総会では報告のみにしてはどうかという提案があり、問題なく了承された。従って、「第1号議案」ならびに「第2号議案」という文言は削除し、報告事項に訂正することになった。以降の議案番号は繰り上げとなる。総会資料については、誤記訂正・表彰や次期役員の追記を行うことで、了承された。

(6) 30周年記念事業について

牧野30周年記念企画実行委員長より、30周年記念事業の説明があった。創立30周年記念事業として、ホームページの改訂ならびに学会の学術財産の集約は既に終了しているとのこと。記念誌の発行についても完成しており、800部印刷したとのこと。また、記念出版も予定している旨の説明があった。

佐藤春樹企画担当理事より、記念祝賀会について説明があった。会場はホテル日航福岡を予定しているとのこと。祝賀会次第について説明があった。現在、20名程度の参加申込があった。是非参加していただきたいとのこと。また、記念シンポジウムについて説明があった。記念シンポジウムは2日目の総会と懇親会の間に予定しているとのこと。司会は藤井丕夫先生をお願いしている旨の説明があった。記念シンポジウムの内容についてプログラムに記載することに決定した。

(7) 第32回日本熱物性シンポジウム準備状況

田口実行委員より、第32回日本熱物性シンポジウム準備状況について説明があった。計測・標準等はもちろんのこと、もっと間口を広げて様々な分野を融合させる試みとして、今回は多くのOSを企画し、オーガナイザーの方々に実行委員会に参加いただいているとのこと。シンポジウム会期は2011年11月21日（月）～23日（水）を予定しており、会場は慶應義塾大学日吉キャンパス独立館を計画しているとのこと。また、懇親会会場は独立館に隣接したク

イーン・アリス ガーデンテラス日吉イベントホールにて行う旨の説明があった。講演申込期限は2011年7月1日（金）、講演論文投稿締め切りは2011年9月2日（金）、参加事前申込期限は2011年10月21日（金）に設定しているとのこと。シンポジウム会場については、学事日程の都合では変更になる可能性がある旨の説明があった。

（8）各種委員・研究会報告

編集委員会

東編集委員会委員長の代理で長坂事務局担当より、編集委員会活動報告があった。学会誌11月号の作成を行っているとのこと。

熱物性サービス委員会

馬場熱物性サービス委員会委員長より、熱物性サービス委員会活動報告があった。長崎大学にサーバーを設置して運営を行っている。アクセス数の増加を目指して今後養賢堂と相談しながら検討していきたいとのこと。

活動委員会

佐藤春樹企画担当理事より、学生優秀プレゼンテーション賞の審査について説明があった。シンポジウム実行委員会の協力の下、データ入力・集計を行っているとのこと。公正に審査ができるよう採点表を検討している。10段階評価だと採点が難しいとの意見があったので、新しい評価シートについて今後検討していくことになった。シンポジウム初日の午前最初のセッションは人が少ない場合が多く、座長として審査員を依頼しにくいことがあるので、プログラム編纂の際にはご留意いただきたいとの意見があった。活動委員会の委員増加を検討しており、今後新しい方や若い方にバトンタッチしていきたいとの意見があった。

広報委員会

宮崎広報委員会委員長より、広報委員会活動報告があった。HPの更新を行っている。コンテンツをいただきたいとのこと。また、積極的にMLを利用していきたいとのこと。法人会員として長い期間入会している企業にメリットがあるようなHPあるいはMLの活用もあって良いのではないか、という意見があった。

研究分科会

マイクロ・ナノスケールの熱物性とシステムデザイン

宮崎オーガナイザーより、研究分科会活動報告があった。9月28日に第15回研究分科会を開催したとのこと。法人（非会員）の方から会費を徴収したとのこと。研究会の情報をきちんと残していきたいとのこと。

生活懇話会II

山田オーガナイザーより、研究分科会活動報告があった。学会のPRと子供への理科教育・社会貢献の一環として「お母さんと一緒にサイエンス・クッキング」を企画した旨の説明があった。

低温環境における熱物性の基礎と応用

田中オーガナイザーより、研究分科会活動報告があった。5月に研究会打ち合わせ会を行ったとのこと。熱物性誌に研究分科会企画の特集を予定しており、査読付の論文集を計画しているとのこと。

宇宙材料の熱物性とシステムデザイン

長坂事務局担当より、研究分科会活動報告があった。第10回の講演を予定しているとのこと。

記念出版「宇宙機のシステム熱設計」を刊行予定であるとのこと。

高温融体物性と材料プロセス

長坂事務局担当より、研究分科会活動報告があった。第1回研究会を6月に開催したとのこと。工場見学も併せて行った。

(9) 共催・協賛関係

長坂事務局担当より、共催・協賛関係の報告があった。2件の協賛について既にホームページに掲載しているとのこと。

(10) 会員異動

長坂事務局担当より、会員異動の報告があった。9件の入会があったが、ほとんどがシンポジウムの学生優秀プレゼンテーション賞に関わる学生会員の入会であるとのこと。

(11) その他

高橋会長より、覚え書きの改訂（案）について説明があった。第5章に新しく慶弔規定を追加したとのこと。今後、執行部、事務局ならびに規約委員会で検討していくことで問題なく了承された。

以上